

---

# 新東名高速道路 (仮称)新磐田スマートIC概要

---

磐田市

---

# 1. スマートインターチェンジとは

## ◆背景・目的

日本の高速道路のインターチェンジ(IC)間隔は欧米諸国の約2倍と長く、また、高速道路が通過するにもかかわらずICが設置されていないため、通過するのみとなっている市町村も存在しています。

このため、高速道路の通行者及び利用者の利便性の向上、地域の活性化、物流の効率化に寄与することを目的に、地方公共団体の発意によるスマートICの整備が進められています。

## ◆スマートICとは

スマートICは、通常的高速道路におけるICと比べて、施設構造を簡易にすることができ、建設コスト・管理コストの削減が可能なETC専用のICです。

## <スマートインターチェンジのイメージ>



〔SA・PA接続型〕  
既存のSA・PAを活用して  
一般道路と接続するものです。



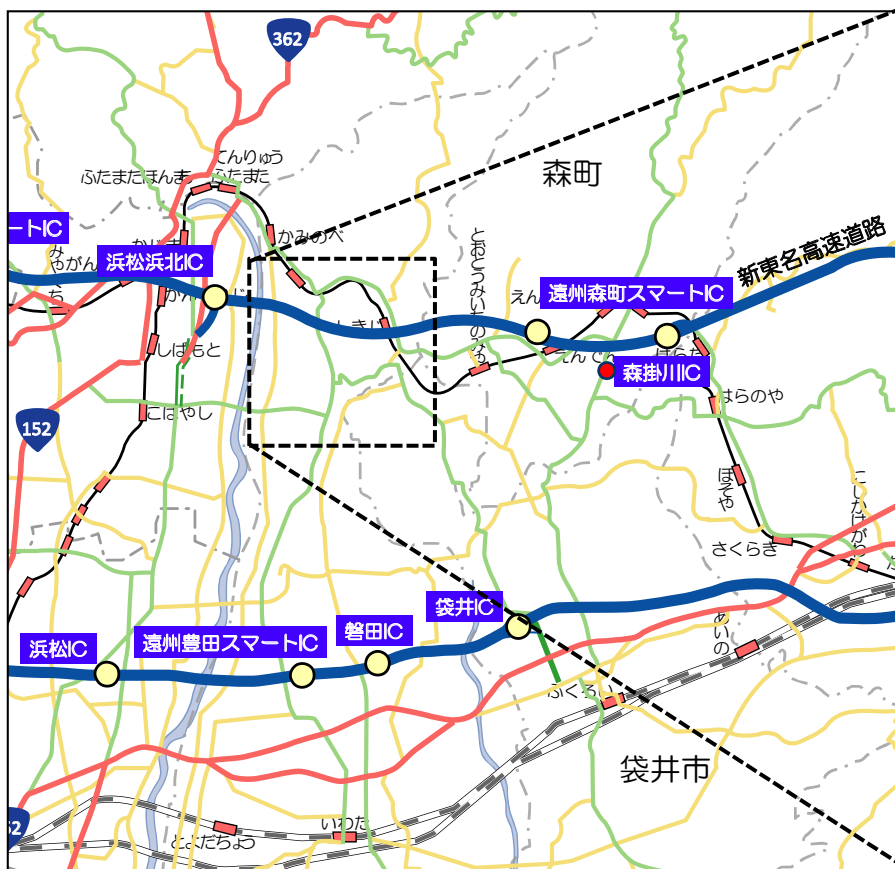
(仮称)新磐田スマートIC

〔本線直結型〕  
高速道路本線と一般道路を直接接続するもので、  
主要道路との交差箇所などに設置するものです。

## 2. 位置図

### 静岡県磐田市 敷地 地内

広域図



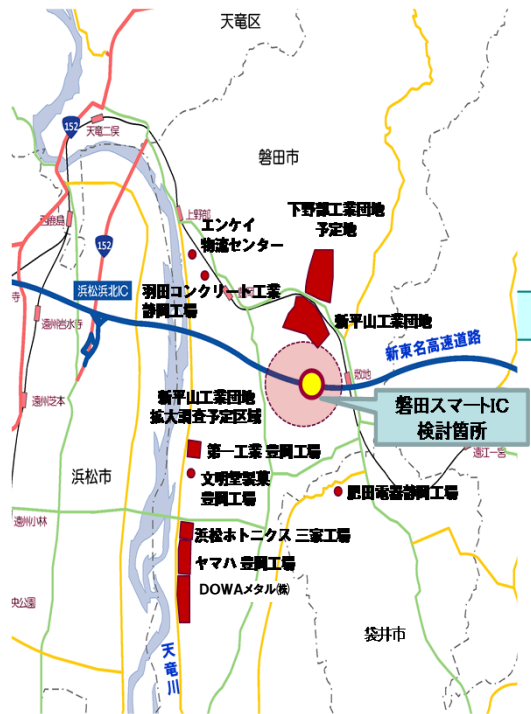
磐田スマートIC周辺拡大図



# 3-①. 当該ICの設置により期待される整備効果

## 1. 工業団地直結による企業集積の促進及び雇用創出

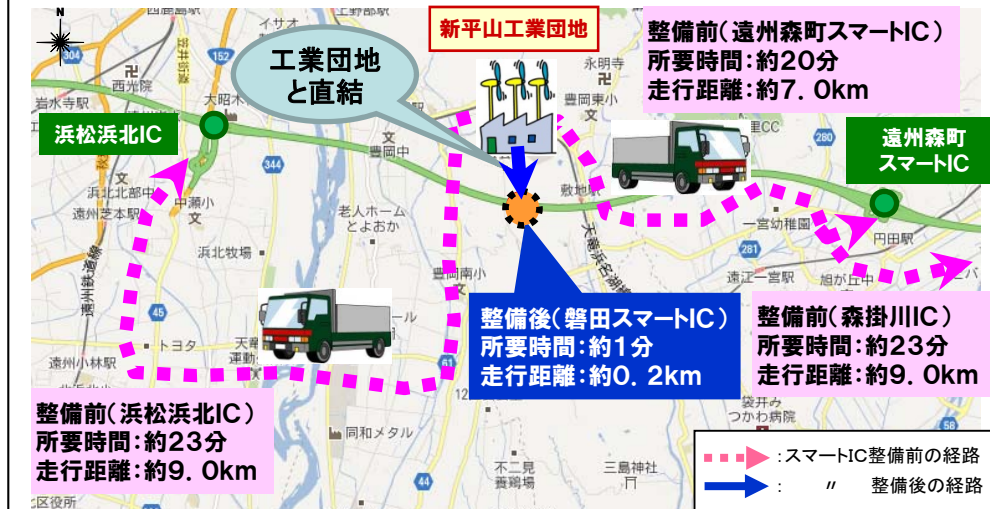
- 磐田スマートICと新平山工業団地及び造成中の下野部工業団地との直結により、工場のリードタイムの短縮による生産性向上等の活性化が図られる。
- 磐田スマートIC設置により工業用地の魅力が高まり、今後の企業集積の促進や雇用創出が期待される。



<新平山工業団地企業>

### <時間短縮効果>

◇磐田スマートICの設置は工業団地と直結するため、大幅な時間短縮が図られる。  
(新平山工業団地から新東名ICまでの現在の所要時間約20分→約1分〔19分短縮〕)



### <磐田スマートICに対する期待の声>

◇新東名高速道路の利用は、東京方面で森掛川IC、名古屋方面で浜松浜北ICを利用しており、会社からの所要時間はどちらも20分～30分である。近傍にスマートICができれば、**輸送時間の短縮**だけでなく、**工場側の生産ラインにも余裕**が生まれ、一層の品質向上に努められるなどメリットがある。ぜひ、つくっていただきたい。

(新平山工業団地内の食品加工会社)

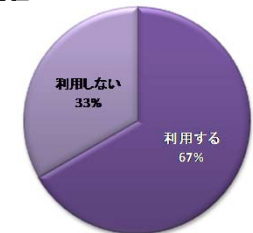
◇高速ICが近くに設置されれば、材料の搬入や製造品の出荷などにおいて利用する。今後、新しい工業団地が出来ることで、森掛川ICや浜松浜北ICにアクセスするトラックで道路が混雑するのではないかと思います。そのためにも、磐田スマートICを早く設置したほうが良いと考える。

(新平山工業団地内の鉄鋼製品生産業)

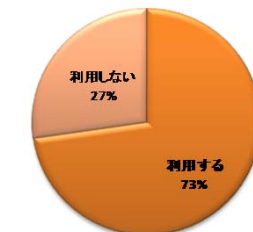


### <運送業及び一般企業の利用意向>

<磐田市北部の運送業>  
◇トラック協会から回答を得た9社のうち、**約7割(6社)**が「磐田スマートICを利用する」と回答



<磐田市北部の一般企業>  
◇市内企業から回答を得た11社のうち、**約7割(8社)**が「磐田スマートICを利用する」と回答



※アンケート調査実施概要

- ・実施期間: 2012.5～2012.8
  - ・トラック協会: 配布数133社
  - ・市内の一般企業: 配布数175社
- ※磐田市北部: 東名高速道路より北部として集計

# 3-②. 当該ICの設置により期待される整備効果

## 2. 災害活動拠点への時間短縮、リダンダンシーの確保

●磐田スマートICは、災害時のライフラインである高速道路から災害活動拠点までのアクセス時間の短縮やリダンダンシーを強化し、迅速な救援・救助活動や復旧・復興活動への貢献が期待される。

<大規模地震発生時における静岡県緊急輸送路図>



◇災害時活動拠点までのアクセスは、新東名高速道路の浜松浜北IC経由、遠州森町スマートIC経由、東名高速道路の磐田IC経由、遠州豊田スマートIC経由に加え、最も近い磐田スマートIC経由が追加され、**時間短縮**が図られる。

◇アクセス経路の増加は、リダンダンシーを強化することとなり、ライフラインである高速道路との**アクセスの確実性**が増強される。

※所要時間の計算に用いた速度は、災害時に緊急輸送路を一定速度で走行できるものとして一律30km/hとした。  
※リダンダンシー：震災などで、道路や橋が機能不全に陥った場合、生活や産業活動に大きな支障が生じないように、あらかじめ代替手段を確保すること。

凡例	
—	1次緊急輸送路
—	1次緊急輸送路(高規格道路)
—	2次緊急輸送路
—	3次緊急輸送路
自	自衛隊活動拠点
警	警察活動拠点
消	消防活動拠点
災	災害拠点病院
防	防災拠点ヘリポート
SCU	SCU(広域医療搬送拠点)
広	広域物資拠点
港	防災拠点港
港	防災拠点湾
県	県庁・出発機関
市	市長役場・支所

・磐田市豊岡総合センター(面積4,557㎡)  
民俗資料館や体育館、野球場などのスポーツ設備が充実しており、静岡県国民保護計画避難施設として指定されている。



・防災訓練の様子



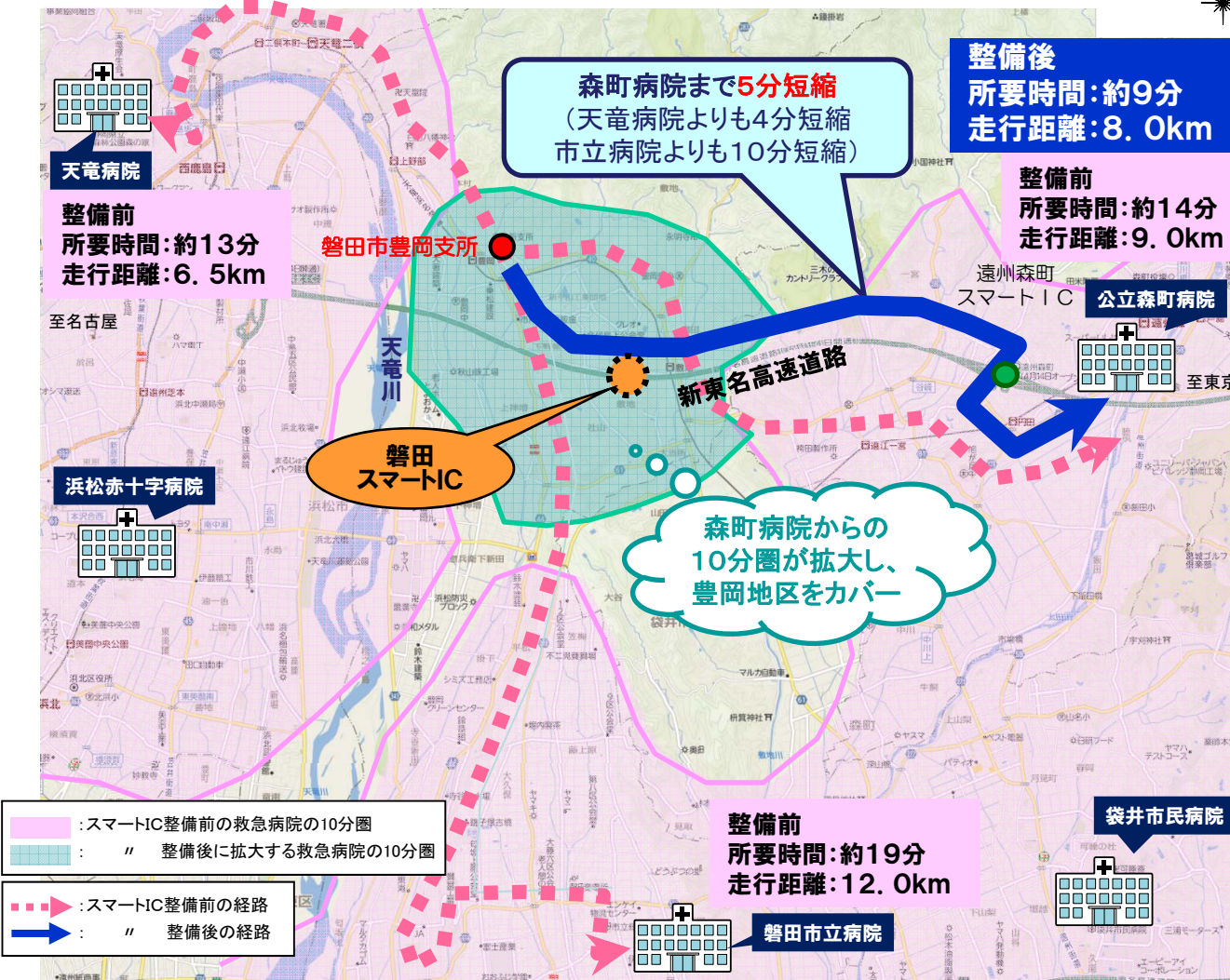
参照：静岡県緊急輸送路図

# 3-③. 当該ICの設置により期待される整備効果

## 3. 搬送時間短縮による地域医療サービスの向上

●磐田スマートICは、救急病院までの所要時間を短縮し、生存率の向上が期待される。

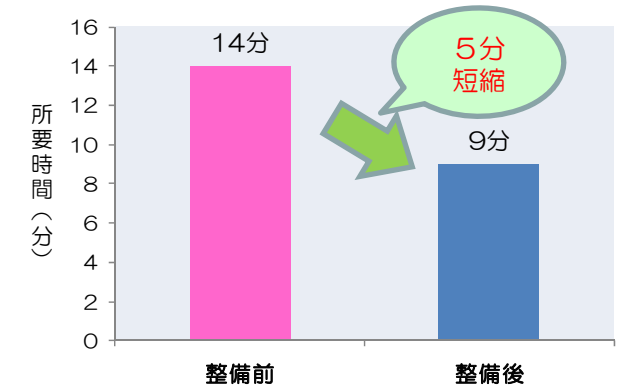
<磐田市豊岡支所から救急病院までの搬送時間・救急病院10分圏>



※H22道路交通センサス旅行速度より算出

<森町病院までの搬送時間短縮効果>

磐田市豊岡支所より森町病院までの搬送時間を磐田スマートIC整備前後で比較した結果、5分の短縮効果が発現



<搬送時間短縮による生存率の増加>

◇カーラーの救命曲線に代表されるように、重篤患者への救命措置開始時間が早ければ早いほど、生存率は向上する傾向にある。

◇搬送時間の短縮により、病院での適切な処置開始時間が短縮されることで、重篤患者の生存率向上が期待される。

<カーラーの救命曲線>

